

「**MOTTAINAI** (もったいない)」のきもちを大切に「**ごみ半減**」をめざして様々な活動を実施中! 四郎丸地区の取り組み～



今年のバザー当日はあいにくの雨でしたが、大盛況でした。

このバザーで得た収益は、主に子ども会など、いろいろな活動の費用として還元しています。地域の皆さんにも好評で、3Rを考えるいいきっかけにもなっているとのこと。皆さんの地域でもぜひ、リサイクルバザーを開催してみませんか。

5月25日(日)、四郎丸コミュニティセンターで「リサイクルバザー」が開催されました。家庭で眠っている不用品を寄付してもらい、欲しい人に販売するバザーを毎年開催しており、今年で7回目になります。



四郎丸コミュニティセンター長
ながと きよし
長藤 潔さん

「ごみ」は生活に最も身近な問題であることから、各町内や地域でその対策に新たな動きが始まっています。長岡地域の四郎丸地区では、平成17年7月に「ごみ半減宣言」を行い、地域が一体となってごみ減量に取り組んでいます。各町内の環境美化推進員が集まって、悩んでいること、工夫していることなどを話し合う場を設けたり、「コミュニティ協議会の環境委員と合同で市のクリーンセンターを見学するなど積極的な活動をしています。」「活動の中で、新たなアイデアが浮かぶこともあり、情報交換の大事さを感じます。今後、他の地域の方々と交流していけたらいいですね。」と、コミュニティセンター長の長藤さんは話してくれました。

**ごみのポイ捨て
不法投棄は
やめて!**

他の町内のごみステーションへのごみ出し、たばこのポイ捨て、道路脇の駐車帯や林道脇の谷などへの不法投棄が数多く報告されています。一部の人の心無い行為で、町の美化が損なわれます。

美しい長岡市を子どもや孫の世代にまで残すため、不法投棄は絶対にしないでください!

「ごみ統一」奮闘記 ～中之島地域では～

中之島地域の興野地区では、4月以降、プラスチック容器包装材料など資源物の分別間違いが多く見られました。そこで、写真入りのチラシを全戸に配布したり、残されたごみにどこが違っていたかを書いたりしたところ、次第によくなったそうです。「環境美化袋を使うのは簡単だけど、すぐに片付けてしまうと慣れてしまう。初めが肝心なのでなるべく長く置くことにしています。」と話してくれたのは環境美化推進員の河内一義さん。



かわうち かずよし
河内 一義さん

最近では近所の人もごみステーションを見て回るなど、地域全体が協力してきれいなまちづくりをしようという気運が高まっています。